

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

50102 妊産婦保健指導事業

担当課: 4812000 保健福祉課

会計区分 一般会計

計画区分 一般事業

【目的】

安心して安全に産み育てられるよう支援する

【指標】

【指標概要】

基準値

[H20]

[H21]

[H22]

【事業費】

【基準年】

[H20]

[H21]

[H22]

指導者数

妊娠届出時の面談数ママパパ学級参加数
産婦訪問時指導数相談室・センターでの妊産婦指導数

8500

8500

8500

8500

計画額

1,545

1,545

1,545

1,545

(一般財源)

1,545

1,545

1,545

1,545

(単位: 千円)

()

0

0

0

0

職員数

4.6

4.6

4.6

4.6

(単位: 人)

【関連する業務名称】

母子健康手帳交付業務

ママパパ学級開催業務

【対象】

妊産婦とそのパートナー

()

0

0

0

0

【事前評価コメント】

法的に裏づけされた事業だが、特に虐待防止法・次世代育成支援法などが加わり、より重要度が増した。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 5 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする
 【施策】 2 健やかに子どもを育てるようにする
 【基本事務事業】 502 母子健康支援事業を充実する

【節】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項】 健康の維持・増進
 【基本計画区分】 202 【担当課】 4812000 保健福祉課

【方針(目的)】
 乳幼児健康診査や健康教育・育児相談を通じて乳幼児の成長を確認し、育児・相談できる体制を充実する。

【外部環境の変化】
 各家族化や少子化が進み、価値観が多様化し、様々な情報の氾濫する現在、育児不安や虐待が社会問題となっている。

【取組み課題(現状と課題)】
 課題に対応するために業務、事業の見直しが必要

コード 配下事務事業名
 50201 乳幼児健康診査事業
 50202 母子保健指導事業
 50203 育児支援活動事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 出産や子育てに不安や心配がない人の割合 (%)
 ()
 0 0 0

【目指す成果(今後の方針)】
 育児に悩みを持つ保護者を少なくする。健診を受けやすくする。

【事務事業】 50201 乳幼児健康診査事業

担当課: 4812000 保健福祉課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
心身の問題早期発見・早期支援を図る	受診率 ()	受診者数 / 各検診の対象者数 × 100	92	95	95	95	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
							計画額 (一般財源) (単位: 千円)	89,574 89,574	92,148 92,148	93,588 93,588	95,064 95,064
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	7.4	7.4	7.4	7.4
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 3ヶ月児・9ヶ月児健康診査業務 股関節脱臼検診業務 1歳6ヶ月児健康診査業務 3歳児健康診査業務 乳幼児健康診査関係業務				
	()										

【事前評価コメント】
 発達相談、疾病の早期発見。未受診者へのフォロー活動を実施する。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50202	母子保健指導事業	担当課: 4812000 保健福祉課						
【目的】		子どもの健やかな成長を促し、保護者が子育ての不安や悩みを解消できるように支援する。		会計区分 一般会計	計画区分 一般事業					
【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
参加者数 (人)	各種教室参加者数の合計	4700	4700	4700	4700	計画額 (一般財源) (単位:千円)	6,545 6,545	6,507 6,351	6,507 6,351	6,507 6,351
三歳児健診でのう蝕罹患率 (%)		26.4	26	25	24	職員数 (単位:人)	7.4	7.4	7.4	7.4
【対象】	市民(市内居住者)で6歳までの乳幼児とその保護者	0	0	0	0	【関連する業務名称】 母子保健指導業務 母子保健歯科指導業務				
【事前評価コメント】 母子保健は生涯の健康づくりの基礎となる。市内に居住する乳幼児すべてに対象にする事業であり、公平性を担保する上からも行政の関与が不可欠である。										

【事務事業】		50203	育児支援活動事業	担当課: 4812000 保健福祉課						
【目的】		育児で孤立することを防ぎ、参加者が互いに育児能力を高めあえるようにする。		会計区分 一般会計	計画区分 一般事業					
【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
育成グループ数 (グループ)	新規育成グループ数	3	3	3	3	計画額 (一般財源) (単位:千円)	0 0	0 0	0 0	0 0
()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0	0	0	0
【対象】	育児グループを作りたい市民、育児支援をしたい市民	0	0	0	0	【関連する業務名称】 セルフケアグループ支援業務 育児支援ボランティア育成業務				
【事前評価コメント】 子育て支援の環境整備施策のひとつとして有効。今後、市民活動が活発化すれば、さらに需要が見込まれる。										

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 5 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする
 【施策】 2 健やかに子どもを育てるようにする
 【基本事務事業】 503 医療の給付と教育を充実する

【節】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項】 多様な生きがい感のある環境づくり
 【基本計画区分】 201 【担当課】 4834000 健康福祉会館

【方針(目的)】 育児や発達に不安をもつ児童の保護者に早期に安心を獲得させるため、必要な療育を開始して、可能な限り成長発達を支援する。
 【外部環境の変化】 社会的には少子化が進行しているものの成長や発達に不安のある児童、不安をもつ保護者は増えている。
 【取組み課題(現状と課題)】 交流保育、施設巡回などを通して幼稚園や保育所と連携を深め、地域での受入れ体制を整備する。
 コード 配下事務事業名
 50301 こども発達センター管理運営事業
 50302 健康福祉会館管理運営事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 幼稚園、保育所等巡回指導を受けている児童 (人) 300 310 320
 通園施設から地域の幼稚園等に移籍した児童 (人) 3 5 5
 【内部要因(強み・弱み)】 専門医と複数の専門職による支援体制は確立している。しかし、受診の希望や療育の希望が増え、時間やマンパワーのゆとりがなくなっている。
 【目指す成果(今後の方針)】 子どもたちが普段生活している地域の中で必要とする集団に参加できるようにする。

【事務事業】 50301 こども発達センター管理運営事業		担当課: 4834000 健康福祉会館				会計区分 一般会計					計画区分 一般事業				
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】								
							【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]				
心身の発達に不安のある児童及び家族等へ多様な専門職による的確かつ総合的な支援を行い、安心して地域で生活が送れるようにする。	相談診療部門相談者及び受診者数 (人)	相談 + 診療 + 個別指導 + 外来グループ + 一時的介護	27482	27762	28042	28322	計画額	76,110	80,301	80,301	80,301	80,301			
							(一般財源)	-5,956	-4,012	-4,012	-4,012	-4,012			
	通園施設利用児童数 (人)	入園児童年間延利用日数	12621	10800	10800	10800	職員数	31.41	31.41	31.41	31.41	31.41			
							(単位: 人)								
【対象】	コミュニティー広場利用者数 (人)	年間延利用者数	19783	20740	20740	20740	【関連する業務名称】 外来療育業務 通園保育業務 コミュニティー広場提供業務								
【事前評価コメント】 相談、診療、療育・保育等の支援を受けた児童・保護者が、そのままセンターにとどまるのではなく、地域にもどり生活が送れるようにすることが重要。コミュニティー-広場は、児童の遊び場のほかに保護者の交流、施設と地域との交流の場として引き続き重要。															

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50302 健康福祉会館管理運営事業		担当課: 4834000 健康福祉会館								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
利用者に対し、安全かつ安心して利用できる環境を保持する。また、障害者に対する就労の場を提供する。		施設利用者数 (人)	【指標概要】 健康福祉会館総利用者数から常盤平保健福祉センター利用者数及び水泳療法室利用者数を除いた数値	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
【対象】 障害者及び一般市民		()		119209	120000	120000	120000	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	336,496 336,270	344,022 343,803	342,836 342,617	342,836 342,617
		()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	6.05	6.05	6.05	6.05
		()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 管理業務 施設維持管理業務 会館賃借料				
【事前評価コメント】 安全かつ安心して使用できることを基本とし、保健・医療・福祉の連携を目的とした健康福祉会館がより利用しやすい施設となるように配慮する。また、引き続き障害者の就労の場を提供する。												

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 5 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする
 【施策】 2 健やかに子どもを育てるようにする
【基本事務事業】 504 虐待の早期発見・対応

【節】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項】 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
 【基本計画区分】 203 【担当課】 4831200 児童福祉課・家庭児童相談室

【方針(目的)】
 児童虐待の防止、早期発見と的確な対応を図るため、相談体制に確立と関係機関によるネットワークの充実並びに保護の充実を図る。

【外部環境の変化】
 家族や地域の子育て力が低下し、子育て不安や児童虐待などに結びついている。

【取組み課題(現状と課題)】
 DV対策を含めた要保護児童の支援を図るため、「要保護児童対策地域協議会」を核とした地域のネットワークと相談支援体制の充実を図る。

コード 配下事務事業名
 50401 児童虐待等早期発見・対応事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
虐待相談の件数 (件)	380	380	380
実務者会議の回数 (回)	6	6	6

【内部要因(強み・弱み)】
 要保護児童の総合的な相談支援体制の準備が整っていない。子育てのための相談機関やサービスPR等が十分でない。

【目指す成果(今後の方針)】
 児童虐待及びDV等に関する予防、早期発見、被害者への支援が充実する。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50401 児童虐待等早期発見・対応事業	担当課: 4831200 児童福祉課・家庭児童相談室									
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業						
児童を虐待から守ることにより、児童の健やかな成長と自立支援を図る	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]	
	児童虐待・DVの相談件数 (件)		196	220	220	220	計画額 (一般財源) (単位:千円)	12,993 11,475	14,881 12,556	14,981 12,656	14,981 12,656	
	実務者会議・ネットワーク会議開催回数 (回)		5	7	7	7	職員数 (単位:人)	4	4	4	4	
【対象】	主任児童委員との情報交換会開催 (回)		0	5	5	5	【関連する業務名称】 家庭児童相談室関係業務 児童短期入所等委託業務 要保護児童対策地域協議会関係業務 育児支援家庭訪問業務 一時保護施設運営費補助					
市民(児童とその保護者)			【事前評価コメント】 今後、児童虐待法、DV法の改正に対応する体制づくりが必要となる。									

【計画事業】

【実施計画番号】 27 【計画事業名】「要保護児童対策地域協議会」を核とした地域のネットワークと相談支援体制の充実を図ります
 【節項コード】 203 【節名】豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項名】日常生活および緊急時の安全・安心性の向上

	H20	H21	H22
計画	児童虐待・DVの防止、早期発見と的確な対応を図るため、相談体制の確立と関係機関との連携の充実を図る。	児童虐待・DVの防止、早期発見と的確な対応を図るため、相談体制の確立と関係機関との連携の充実を図る。	児童虐待・DVの防止、早期発見と的確な対応を図るため、相談体制の確立と関係機関との連携の充実を図る。
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50502 一時的支援事業		担当課: 4831000 児童福祉課								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
一時的な児童の育児・養育の支援を図ることにより、児童の多様な成長と保護者の社会参画を易くする。		(デイサービス)利用者数 (人)	(デイサービス)申請者数	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
				1031	1200	1200	1200	計画額 (一般財源) (単位:千円)	34,373 25,473	34,373 25,473	34,373 25,473	34,373 25,473
		(ファミリーサポートセンター)活動数 (人)	(ファミリーサポートセンター)会員数	11107	13000	13000	13000	職員数 (単位:人)	0.7	0.7	0.7	0.7
【対象】	児童及びその家庭世帯	()	()	0	0	0	0	【関連する業務名称】 乳幼児健康支援サービス業務 ファミリーサポートセンター業務 父子家庭養護費助成業務				
【事前評価コメント】 提供会員の減少傾向が利用者のニーズに対応できない状況をつくってしまうため、計画目標値に近づける意味からも、改善を行いながら、事業を推進していく。												

【事務事業】		50503 育児の情報提供事業		担当課: 4831000 児童福祉課								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
保護者が安心して子育てができるような情報(サービス・施設等)を提供するため、情報紙を作成配布する。		(子育てガイドブック)配布部数 (部)	(子育てガイドブック)作成部数	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
				15000	15000	0	15000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	2,457 2,457	2,883 2,883	0 0	2,883 2,883
		()	()	0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.3	0.3	0.3	0.3
【対象】	出産前の母親及び子育て中の家庭世帯	()	()	0	0	0	0	【関連する業務名称】 子育てガイドブック作成業務				
【事前評価コメント】 現在、子育て世帯からの子育てガイドブックに対するニーズが多く、隔年で作成・配布しているものを、毎年で作成・配布に変えていく必要がある。												

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50504 母子生活支援事業		担当課: 4831200 児童福祉課・家庭児童相談室							
【目的】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業					
【対象】		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
一時的に経済的な支援等を行うことによって、健全な家庭生活を営むことができるようにする。	【指標】	【指標概要】									
	就業率 (%)	就業者/給付金受給者	50	50	50	50	計画額 (一般財源) (単位:千円)	8,676 5,366	11,457 2,782	11,457 2,782	11,457 2,782
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	4	4	4	4
【対象】	経済的に自立していない妊産婦 または母子家庭	()	0	0	0	0	【関連する業務名称】 入院助産措置委託業務 母子生活支援施設入所委託業務 母子家庭交流会業務 母子福祉センター業務				
【事前評価コメント】		市民が必要とする、より充実した内容にしていかなければならない。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50505 地域子育て支援事業	担当課: 4831000 児童福祉課								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
子育て家庭の育児不安を軽減するため、地域活動との連携の中で育児支援を実施することにより、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	(つどいの広場)利用者数 (人)	(つどいの広場)利用者数	8350	24000	41000	59000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	4,811 1,411	21,358 8,132	30,938 14,762	39,740 14,266
	(子育て支援センター)育児相談件数 (件)	(子育て支援センター)育児相談件数	1457	1757	2057	2200	職員数 (単位:人)	6	6	6	6
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 つどいの広場運営業務 地域子育て支援センター業務 子育てフェスティバル業務 子育て支援コーディネーター業務				
乳幼児から就学前児童とその子どもをもつ家庭世帯		()									
【事前評価コメント】 つどいの広場については、平成20年から平成22年度までに11カ所の設置を予定しているため、施設の確保が重要課題のひとつとなる。											

【計画事業】

【実施計画番号】 14 【計画事業名】 子どもと親の居場所の増設や子育て自助グループの育成によって、子育ての支援体制を強化します
 【節項コード】 201 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項名】 多様な生きがい感のある環境づくり

	H20	H21	H22
計画	(地域子育て支援センター業務)・育児情報の提供・子育てサークルの育成・支援・育児相談・特別保育事業の実施・交流の場の提供(つどいの広場運営業務)・つどいの場の提供・育児相談・一時保育	(地域子育て支援センター業務)・育児情報の提供・子育てサークルの育成・支援・育児相談・特別保育事業の実施・交流の場の提供(つどいの広場運営業務)・つどいの場の提供・育児相談・一時保育	(地域子育て支援センター業務)・育児情報の提供・子育てサークルの育成・支援・特別保育事業の実施・交流の場の提供(つどいの広場運営業務)・つどいの場の提供・育児相談・一時保育
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50506 ひとり親家庭支援事業	担当課: 4831000 児童福祉課								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
経済的自立を促進するため、就労に必要な技能取得についての費用助成を行なう。また、ひとり親家庭のグループ化を行い、定期的に集まり情報交換を行うことで、ひとり親家庭における不安感の解消を図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	講座受講人数 (人)	講座受講人数	22	31	40	50	計画額 (一般財源) (単位:千円)	3,939 1,864	7,432 4,906	7,532 4,388	7,532 4,388
	自助グループ参加者数 (人)	自助グループ参加者数	311	320	330	350	職員数 (単位:人)	1.2	1.2	1.2	1.2
【対象】	ひとり親家庭の父、母及び寡婦 ()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 ひとり親家庭就労促進業務 家庭福祉推進員関係業務				
【事前評価コメント】 ひとり親家庭の自立によりつながるよう就労及び情報交換等現在の事業を見直していく。また、就労のための講座を受講したことが、即就労につながるよう、受講後の調査を実施する。											

【計画事業】

【実施計画番号】 15 【計画事業名】 ひとり親家庭への相談、就業支援等を強化し、また、地域の母子福祉団体への支援のあり方を検討します
 【節項コード】 201 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項名】 多様な生きがい感のある環境づくり

	H20	H21	H22
計画			
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50508 児童館管理運営事業		担当課: 4831000 児童福祉課								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童に健全な遊びを与える場所・機会を提供する。		利用者数	利用者数	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	(人)			56085	57200	58300	59400	計画額 (一般財源) (単位:千円)	13,924 4,965	13,641 4,936	13,641 4,936	13,641 4,936
	()			0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3.1	3.1	3.1	3.1
【対象】				0	0	0	0	【関連する業務名称】 運営業務 施設維持管理業務 施設整備業務 移動児童館運営業務 子どもの居場所整備業務				
児童	()											
【事前評価コメント】 事業内容の検討および広報活動により利用者の増加を図る。またニーズに対応するため、移動児童館を拠点とした地域の方による児童健全育成事業が展開できるよう、ボランティア育成・遊具の貸し出し等を行い支援していく。												

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 5 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする
 【施策】 2 健やかに子どもを育てるようにする
 【基本事務事業】 506 育児費を助成する

【節】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項】 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
 【基本計画区分】 203 【担当課】 4831100 児童福祉課・給付担当室

【方針(目的)】
 家庭生活の安定と児童の健全育成・資質の向上を図り、児童の多様な成長を支援する。

【外部環境の変化】
 子育てにかかる経済的負担軽減が求められている。児童扶養手当の支給額減額が予定されている。

【取組み課題(現状と課題)】
 ひとり親家庭への経済的自立向上のため、就労促進事業が効果的であるが、利用者が少ない。児童手当や児童扶養手当の制度改正があり、事業の将来像がつかみづらい状況にある。

コード 配下事務事業名
 50601 児童手当支給事業
 50602 児童扶養手当給付事業
 50603 遺児手当給付事業
 50604 高等学校修学資金関係事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 受給者数 45754 45304 44854
 (人)
 ()

【内部要因(強み・弱み)】
 国における各種制度の法改正により、市財政負担が増大している。

【目指す成果(今後の方針)】
 ひとり親家庭への就労促進事業周知により、利用者を増やし、経済的自立向上を図る。

【事務事業】 50601 児童手当支給事業

担当課: 4831100 児童福祉課・給付担当室

【目的】
 手当を支給し、家庭生活の安定と児童の健全育成・資質の向上を図る

【指標】 受給者数
 (人)
 ()

【指標概要】
 設定期限: 子育てにかかる経済的負担の軽減
 取得先: 各年度決算資料

基準値 [H20] [H21] [H22]
 455091 450000 445000 440000

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業
 【事業費】 [基準年] [H20] [H21] [H22]
 計画額 2,511,321 3,049,797 3,032,554 3,015,406
 (一般財源) 728,183 795,618 791,221 786,849
 (単位: 千円)
 職員数 2.8 2.8 2.8 2.8
 (単位: 人)

【対象】
 0歳から小学校6年生までの児童の保護者

()

0 0 0 0

【関連する業務名称】
 被用者
 被用者特例給付
 被用者小学校修了前特例給付
 非被用者
 非被用者小学校修了前特例給付
 児童手当給付業務

【事前評価コメント】

平成16年度、18年度、19年度と法改正が行なわれ対象が拡大されたが、少子化対策として今後の更なる拡大も想定される。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50602 児童扶養手当給付事業		担当課: 4831100 児童福祉課 給付担当室								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
手当を支給し、生活の安定と健全育成を図る		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		受給者数	設定理由:子育てにかかる経済的負担の軽減 取得先:各年度決算資料	2809	2900	2950	3000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,223,033 818,915	1,184,074 791,763	1,163,211 777,855	1,182,806 790,918
		()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3	3	3	3
【対象】								【関連する業務名称】				
母子家庭の母親		()		0	0	0	0	児童扶養手当 児童扶養手当給付業務				
		【事前評価コメント】		平成20年度に支給金額減額を伴う制度改正がある。改正の詳細は未定。								

【事務事業】		50603 遺児手当給付事業		担当課: 4831100 児童福祉課 給付担当室								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
手当を支給し、生活安定と福祉の増進、児童の健全育成を図る		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		受給者数	設定理由:子育てにかかる経済的負担の軽減 取得先:各年度決算資料	263	263	263	263	計画額 (一般財源) (単位:千円)	16,274 16,274	16,274 16,274	16,274 16,274	16,274 16,274
		()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.5	0.1	0.1	0.1
【対象】								【関連する業務名称】				
親と死別した義務教育終了前の児童の扶養者		()		0	0	0	0					
		【事前評価コメント】		受給児童数は年々減少している。								

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

50604 高等学校修学資金関係事業

担当課: 4831100 児童福祉課・給付担当室

【目的】

修学資金を支給又は貸付し、将来社会に貢献する人材を育成する。

【指標】

交付件数

(件)

【指標概要】

設定理由: 修学にかかる経済的負担の軽減
取得先: 各年度決算資料

基準値

605

会計区分 一般会計

[H20]

591

[H21]

591

[H22]

591

計画区分 一般事業

【事業費】

【基準年】

[H20]

[H21]

[H22]

計画額

75,545

79,801

79,801

79,801

(一般財源)

70,545

74,801

74,801

74,801

(単位: 千円)

職員数

1.7

1.7

1.7

1.7

(単位: 人)

【関連する業務名称】

高等学校入学資金貸付金等選考委員

松本清奨学資金援護費

高等学校修学資金援護費

高等学校入学資金貸付金

【対象】

経済的理由で修学が困難な高校生の保護者

()

0

0

0

0

【事前評価コメント】

平成17年度から生活保護制度で高等学校入学資金及び修学金が給付されることになった。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 5 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする

【節】 豊かな人生を支える福祉社会の実現

【施策】 3 子育てと仕事を両立できるようにする

【項】 福祉のための基盤整備

【基本事務事業】 507 保育所サービスを充実する

【基本計画区分】 204 【担当課】 4832000 保育課

【方針(目的)】

多様化するニーズに答えられるよう保育サービスを充実させる

【外部環境の変化】

共働き家庭が増加し、就業環境の多様化に併せた保育所サービスの一層の充実が求められている。幼稚園と保育園における保育体制の違いを乗り越えたサービスが求められている。幼稚園については、対象者や入園児数も減少しており、就園需要を地域的に補完してきた役割は低下している。

【取組み課題(現状と課題)】

「仕事と子育ての両立」支援に民間保育所の実績を活用し推進する。新たな保育ニーズに対応するため、民間保育所を2ヶ所開設する。公立幼稚園や認定こども園のあり方について検討する。

コード 配下事務事業名

50701 民間保育所関係事業

50702 保育所運営委託事業

50703 市立保育所関係事業

50704 市立保育所運営委託事業

【指標】

[H20] [H21] [H22]

保育所数

46 47 47

(所)

0 0 0

()

【内部要因(強み・弱み)】

保育所や学童保育など運営する民間法人が多い。従来、子育て支援が保育など「仕事と子育ての両立」を中心に進められてきたため、広くすべての子どもと家庭を支援するサービスの提供量が少ない。幼児教育を担うことのできる私立幼稚園が多い。

【目指す成果(今後の方針)】

公立保育所の運営業務を民間委託する。待機児童の解消につながる。多様な保育ニーズに対応できる幼児教育の方向性が検討できる。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50701 民間保育所関係事業	担当課: 4832200 保育課・入所担当室								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
社会福祉法人の行う、多様な保育ニーズに応じた保育サービスの提供を支援する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	休日保育実施保育所 (所)	0箇所から2箇所	0	0	1	1	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	8,295 767	809,431 590,968	635,816 519,530	635,816 519,530
	一時保育実施保育所 (所)	12箇所から14箇所へ	0	0	1	1	職員数 (単位: 人)	0	11	11	11
【対象】	新規施設の創設 (所)		0	1	1	0	【関連する業務名称】 優良保育士報償金 建設費利子補給金 特別管理費補助金 職員給与等改善費補助金 乳児保育促進事業費補助金 統合保育費補助金 延長保育費補助金 施設管理費補助金 児童処遇費補助金 特別保育事業費補助金 保育向上保育士設置費補助金 建設費補助金				
		【事前評価コメント】 保育サービスの多様化に対応するよう求める声はあるが、大きな波となっていない。									

【計画事業】

【実施計画番号】 35 【計画事業名】 新たな保育ニーズに対応するため、民間保育所を2ヶ所、開設します 他2事業
 【節項コード】 201 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項名】 多様な生きがい感のある環境づくり

	H20	H21	H22
計画	新しい施設の創設	休日保育所実施 1所一時保育実施保育所1所	休日保育所実施 1所一時保育実施保育所1所
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

【実施計画番号】36 公立幼稚園や認定こども園のあり方について検討します 【実施計画番号】14 地域の場所を活用した子どもと親の居場所(おやこDE広場)の増設や子育てで自助グループの育成によって、子育ての支援体制を強化します

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50702 保育所運営委託事業		担当課: 4832200 保育課・入所担当室				会計区分 一般会計				
【目的】		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【計画区分 一般事業】	[H20]	[H21]	[H22]
保育所に欠ける就学前児童に 良質なサービスを提供する。	待機者数	(人)		43	35	10	0	計画額 (一般財源) (単位:千円)	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0	10	10	0
【対象】	保育に欠ける児童	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 市内保育所 市外保育所				
【事前評価コメント】 保育需要が予想される地域があるため、対応が必要である。												

【事務事業】		50703 市立保育所関係事業		担当課: 4832100 保育課・市立保育所担当室				会計区分 一般会計				
【目的】		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【計画区分 一般事業】	[H20]	[H21]	[H22]
保育に欠ける就学前児童に良 質な保育サービスを提供する。	苦情件数	()	市立保育所の保育内容に関する年間苦情件数	0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位:千円)	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	410	405	400	395
【対象】	保育に欠ける就学前児童とその 保護者	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 育児休業代替保育士等賃金 嘱託医師報償費 保育業務 特別保育業務 施設維持管理業務 施設整備業務				
【事前評価コメント】 経済性、サービスの拡大等は社会福祉法人などの民間に委ねる方が効率的である。しかし、障害者の保育などの不採算部門の保育事業は行政として必要。												

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		50704 市立保育所運営委託事業		担当課: 4832100 保育課・市立保育所担当室							
【目的】				会計区分 一般会計			計画区分 計画事業				
多様な保育ニーズに対応していくため、公立保育所の運営業務を民間に委託し、保育サービスの拡大と保育経費の削減を図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	保育課職員予定定数 ()	保育課職員予定定数	410	403	396	389	計画額 (一般財源) (単位:千円)	219,349 177,094	413,618 328,986	515,318 409,676	617,018 490,366
	拡大したサービス延べ事業数 ()	拡大したサービス延べ事業数	0	1	2	3	職員数 (単位:人)	5	5	5	5
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 馬橋保育所(債務負担行為) 小金西保育所(債務負担行為)				
保育に欠ける就学前児童とその保護者	()										
【事前評価コメント】 民間に保育業務の運営を委託することにより経済性を高めながら保育サービスの充実を図るものである。移管も含めて事業を進める。											

【計画事業】

【実施計画番号】 118 【計画事業名】 「仕事と子育ての両立」支援に民間保育所の実績を活用し推進します
 【節項コード】 204 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
 【項名】 福祉のための基盤整備

	H20	H21	H22
計画	常盤平保育所の運営業務委託	公立保育所1ヶ所の運営業務委託または移管	公立保育所1ヶ所の運営業務委託または移管
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	5 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 子育てと仕事を両立できるようにする	【項】	多様な生きがい感のある環境づくり
【基本事務事業】	508 児童施設サービスを充実する	【基本計画区分】	201 【担当課】 4831000 児童福祉課

【方針(目的)】	ニーズに合った児童施設を整備し、質の高いサービスを提供することにより、児童の多様な成長を支援します。	【外部環境の変化】	身近な地域の中で子どもが一人でも安心して過ごせる居場所や幼児と親と一緒にいられる子育ての場の充実が求められている。	【取組み課題(現状と課題)】	余裕教室や小学校敷地内に放課後児童クラブを整備し、子どもの健全な居場所づくりを進める。	コード	配下事務事業名
						50801	児童養護施設等整備資金借入金補助金
						50802	特別支援等放課後対策事業
						50803	放課後児童クラブ管理運営事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
放課後児童クラブ新設施設数 (ヶ所)	3	5	0	地域で見守る安心・安全な子育てを推進してきた実績がある。	全ての小学校区内に児童にとって安心安全な放課後児童クラブが設置される。
放課後児童クラブ移設等施設数 (ヶ所)	3	5	7		

【事務事業】	50801 児童養護施設等整備資金借入金補助金	担当課:	4831000 児童福祉課									
【目的】	児童短期入所施設/地域交流スペースにかかる一部の整備を行うために、社会福祉・独立行政法人福祉医療機構から受けた借入金について補助金を交付することにより、当該施設の整備促進及び経営の健全化を図る。	会計区分	一般会計	計画区分	一般事業							
【指標】	施設数 (箇所)	【指標概要】	当該補助金の対象となる施設数(児童養護施設の施設整備費を独立法人福祉医療機構より借り受けた元金・利子に対する補助を行うため)	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
				1	1	1	1	計画額 (一般財源) (単位:千円)	455 455	450 450	447 447	444 444
				0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.2	0.2	0.2	0.2
【対象】	乳幼児から18歳までの児童とその子どもをもつ家庭世帯及び地域住民			0	0	0	0	【関連する業務名称】				
		【事前評価コメント】	補助金の交付先である社会福祉法人									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

50802 特別支援等放課後対策事業

担当課: 4831000 児童福祉課

会計区分 一般会計

計画区分 一般事業

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
特別支援学校や小・中学校に通っている、障害児の放課後や長期休み期間中における、子どもたちの交流の場を与え福祉の向上を図るために、運営費への補助を行う。	利用者数 (人)	利用登録者	33	33	33	33	計画額 (一般財源) (単位:千円)	700 350	1,400 700	1,400 700	1,400 700
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.2	0.2	0.2	0.2
【関連する業務名称】											
【対象】			0	0	0	0					
障害児及びその世帯	()										

【事前評価コメント】

今後、障害者自立支援法(日中一時支援事業)との関連も考えていかなければならない。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

50803 放課後児童クラブ管理運営事業

担当課: 4831000 児童福祉課

【目的】

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年に対し、授業終了後に児童厚生施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図る。

【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]
新設施設数 (ヶ所)	未設置クラブ(学区)4クラブ(学区)	1	2	2	0
移設等施設数 (ヶ所)	老朽化、相続等により移設が必要なクラブ 6 クラブ	1	2	2	2

【対象】

小学校1年生から3年生までの児童であって、その保護者が労働等の事由により家庭における養育が困難であると認められる児童

()		0	0	0	0
-----	--	---	---	---	---

【事前評価コメント】

限られたコストを有効に活用するため、優先順位に沿って余裕教室の改造を第一に整備を行なう。

会計区分 一般会計

計画区分 計画事業

【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
計画額 (一般財源) (単位:千円)	201,265 110,841	359,875 230,092	344,766 219,947	273,080 170,139
職員数 (単位:人)	1.6	1.6	1.6	1.6

【関連する業務名称】

運営費補助金
施設整備業務

【計画事業】

【実施計画番号】 16 【計画事業名】 余裕教室や小学校敷地内に放課後児童クラブを整備し、子どもの健全な居場所づくりを進めます

【節項コード】 201 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現
【項名】 多様な生きがい感のある環境づくり

	H20	H21	H22
計画	放課後児童クラブ施設数42ヶ所	放課後児童クラブ施設数44ヶ所	放課後児童クラブ施設数44ヶ所
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)